

神戸松蔭女子学院大学チャペル見学会（13：00～13：45）のご案内

神戸松蔭女子学院大学は、1892年にイギリス聖公会の宣教師J.Sフォス師により創設されました。1981年建造のチャペル（学校や施設内に建てられている礼拝堂）は、礼拝の場にふさわしく、かつオルガンの設置を前提としており、ヨーロッパの聖堂のように、あたかも天から歌声やオルガンの響きが降り注ぐような特別な音響設計が施されています。

故平島教授と担当の竹中工務店技術研究所音響チームがヨーロッパの約90の教会の音響を実際に測定し、その結果をもとに、平島教授、マルク・ガルニエ氏、竹中工務店により設計、建造されました。

収容人員：340人 残響時間：空席時 3,9秒、満席時 2,6_秒

* パイプオルガンについて

フランス・クラシック・タイプのオルガンで、4段鍵盤・31ストップ、大小のパイプ2,200本から構成されています。高さ11m、幅4mと大きさは中規模ですが、音響の美しさは抜群で、これまで世界の名オルガニストによって演奏されています。制作者はマルク・ガルニエ氏（フランス・オルガン建造家協会名誉会長）

尚、本学客員教授である鈴木雅明氏主宰の演奏団体《BCJ バッハ・コレギウム・ジャパン》は、1990年の楽団創設当初より現在まで、チャペルにて演奏、録音を行っており、制作された70タイトルを超えるCD（スウェーデンのBIS社から発売）は、世界的に高い評価を得ています。

□会場へのアクセスマップとキャンパスマップ

阪急かJRでお越しください。阪急「六甲」駅、または JR「六甲道」駅 から、神戸市営バス36系統「鶴甲団地」行きにご乗車頂き、「六甲台南口」にて下車 徒歩5分です。

それぞれ、バスの所要時間は5分と10分です。

2、3人一緒なら、タクシーがおすすめです。（阪神電車のご利用はおすすめできません。バスに乗っている時間が25分位かかります。）

地図に記載のあるスクールバスは、春休みのため運行していません。

チャペルは正門からすぐ、前方左手です。

例会の会場は、右手に進んで頂いた5号館 子ども発達棟の4階になります。



